

矢作川・豊川 カーボンニュートラル プロジェクト

カーボンニュートラル

～流域一体でCNを目指す～



矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトとは？

矢作川・豊川を軸とする三河地方において、その水の流れに着目し、カーボンニュートラル(以下、「CN」)の実現を目指すプロジェクトです。

水源地でありCO₂を吸収する森林、治水と再生可能エネルギー創出(水力発電)を担うダム、省エネが求められる上下水道など、「水循環」をキーワードに流域が持つポテンシャルを最大限活用するため、これまでの枠組みにとらわれず関係者が一丸となって取り組んでいます。



矢作ダム

三河地方の暮らしを支えてきた矢作川・豊川

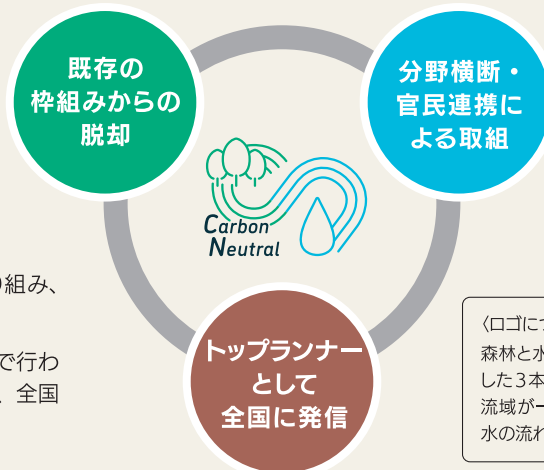
矢作川・豊川流域には豊かな自然環境が広がっており、恵まれた水利条件を活かし多様な作物が栽培される全国有数の農業地帯であると同時に、西三河地域から三河港周辺にかけ自動車産業を中心とした製造業が集積している地域です。これまで幾度も洪水や渇水など自然災害に見舞われましたが、ダムをはじめとする治水施設や、上下水道、農業水利施設などの水インフラの整備によってこの地域の暮らしは今日まで支えられてきました。中でも古くから水力の活用が盛んで、明治時代に生まれた水車紡績が日本で最も普及した地域でもあります。



豊川

矢作川・豊川CNプロジェクトの特徴

- 既存の枠組みにとらわれず、前例のない取組の実現を目指します。
- 法令などの現行制度が制約となっている場合は、その見直しも視野に入れて取り組みます。
- トップランナーとして愛知が取り組み、全国に発信していきます。
- 治水や森林整備などの日本各地で行われている取組をベースとしており、全国へ広がる可能性を秘めています。



- 自治体や事業者など一組織では実現が難しい取組に対し、流域の関係者が分野を超えて連携し、一体的に取り組めます。
- 民間企業の創意工夫を取り入れ、官民連携での実施を目指します。

〈ロゴについて〉

森林と水滴のモチーフに加え、水の流れをイメージした3本のラインが円を描くことで、水循環および流域が一体となった持続可能な社会を表しました。水の流れは「CN」の文字をデザインしています。

知事コメント



2015年のパリ協定を契機に世界の地球温暖化対策への取組は大きく加速しました。ESG^{*}への対応を重視したESG投資が一大潮流となっており、「カーボンニュートラル」は官民すべての関係者にとって目指すべき方向性です。

愛知県は、約半世紀にわたり製造品出荷額等日本一を続けている一方、活発な経済活動の結果として愛知県から発生する温暖効果ガスは全国最多クラスです。産業界の努力によりGDPあたりの排出量は低い水準であり、近年排出量は減少傾向ですが、カーボンニュートラルの実現には従来の取組の延長に留まらないイノベーション、ブレイクスルーが必要です。

こうしたことを踏まえ、当プロジェクトは既存の枠組みにとらわれず、官民連携で、分野横断的に取り組むことを重視しています。

日本一のモノづくり県である愛知県は環境分野においてもトップランナーでなければなりません。このプロジェクトが対象とする治水、上下水道、農業水利施設などは、全国で普遍的に取り組まれている事業です。愛知県が先進的な取組を全国に発信し、同様の取組が全国に普及することで、日本のカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

2024年3月 愛知県知事 大村 秀章

※ESG: 環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance)

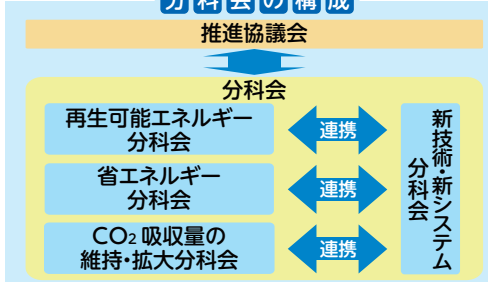
矢作川・豊川CN推進協議会

プロジェクトの推進のため、既存の枠組にとらわれず、分野を横断した総合的なマネジメントを実施
推進協議会には4つの分科会を置き、具体的な検討を推進

推進協議会の構成員

愛知県	知事
関係市町村	豊橋市長
	豊田市長
国等	農林水産省 東海農政局長
	経済産業省 中部経済産業局長
	国土交通省 中部地方整備局長
	環境省 中部地方環境事務所長
	水資源機構 中部支社長
経済団体	愛知県商工会議所連合会 会長
	中部経済連合会 会長
有識者	東京大学名誉教授 池内 幸司 一橋大学名誉教授 山内 弘隆

分科会の構成



これまでの取組

2021年7月

あいちカーボンニュートラル戦略会議を設置
第1回あいちカーボンニュートラル戦略会議を開催

→「(仮称)中部流域プロジェクト」を県として推進すべきプロジェクトに選定

2021年9月1日

矢作川CNプロジェクトに着手

2022年3月30日

矢作川CNプロジェクトの全体像を発表

2022年8月1日

矢作川CN推進協議会を設立・開催

・優先して取り組む施策を決定

2023年9月1日

矢作川CN推進協議会を矢作川・豊川CN推進協議会へ

・豊川流域を含んだ三河全域で展開

2024年8月30日

水循環基本計画が閣議決定

・流域一体でのCNIに向けた取組の推進先進事例として紹介

2026年1月16日

矢作川・豊川CNプロジェクトシンポジウム開催

・プロジェクトの取組を全国に発信

- ・実現可能なものから、順次事業化！
- ・先進的な成果を全国へ発信！
- ・愛知がトップランナーとなり、日本のCN実現に貢献！

問い合わせ先

愛知県(矢作川・豊川CN推進協議会事務局)

建設局河川課／環境局地球温暖化対策課／経済産業局イノベーション企画課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2



052-954-6553 (河川課)



kasen@pref.aichi.lg.jp (河川課)



矢作川・豊川
CNプロジェクト
ポータルサイト

